

災害版 第4号

発行：双葉町議会
〒347-0105 埼玉県加須市騎西 598-1
(旧騎西高校内)
☎ 0480-73-6880(代表)

国と東京電力へ要望書を提出



【3月8日・9日】

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故から1年になろうとしているにもかかわらず、双葉町民の帰還の見通しもたたないまま厳しい避難生活を余儀なくされております。補償・賠償や被ばく医療の対応も進まない状況の中、中間貯蔵施設建設の件、賠償金の件、一時立ち入りの回数、町民の健康に関する件、高速道路無料化延長の件、住宅支援延長の件、原子力損害賠償紛争審査会の件について、迅速に実現を図られるよう、国に対して要望してまいりました。また、東京電力に対し、事故の早期収束と町民の安全安心、作業員の安全・健康確保の件、賠償の件などについて、早急な対応を要望してまいりました。

《第1回臨時会～2月1日～》

【備品購入契約の締結】

個人用電子式線量計 1,060 台の購入。
植田電気株式会社 が 5,565 万円で決定。

【双葉町東日本大震災復興基金条例の制定】

福島県市町村復興支援交付金を町民の皆様の生活の安定や地域経済の復興の財源として活用

【平成23年度一般会計補正予算】 総額62億8,535万4千円

【平成23年度国民健康保険特別会計補正予算】

総額10億4,302万1千円

東日本大震災・原発事故により、避難生活を余儀なくされてから早一年を経過しました。私たち町民には未だに将来の希望も光を見ることもできません。精神苦痛も極限にきていることと察します。

私たち議会も町民の付託を受け、当選してから半年を経過しました。町民との懇談会により出された意見等を集約し、県・国への要望活動を実施したり、現況を訴えたりしておりますが、現在の補償・賠償は納得いくものではありません。

今般、双葉町に中間貯蔵の設置が国より示されておりますが、補償・賠償が最優先であり、中間貯蔵の議論をする段階ではない

〈町民の皆様へ〉

双葉町議会議長 佐々木 清一

と国にはきっぱり申し上げております。議会の中でも現在は議論しておりません。すべて町民の意見を聞いてからと話しております。「条件闘争」です。国の責任において、町民がふるさとに帰れる日まで復興住宅を作り、生活の場を補償していただいくことが必要です。議会としても今後とも国の出方をしっかり見据えて妥協することなく交渉していきます。

町民の皆様には大変な苦痛を与えておりますが、将来の希望が見えるまで健康には十分留意されますよう、お祈り申し上げます。挨拶いたします。

《議会のうらや》

- △2月1日
 - ・平成24年第1回臨時会 (加須市騎西総合支所議場)
- △2月9日
 - ・総務教育常任委員会 (旧騎西高校会議室)
- △2月17日
 - ・産業厚生常任委員会 (旧騎西高校会議室)
- △2月28日
 - ・双葉地方広域市町村圏組合議会定例会 (郡山市県中浄化センター)
- △3月2日
 - ・議会全員協議会 (旧騎西高校会議室)
- △3月4日
 - ・東日本大震災犠牲者合同慰霊式 (いわき市せきのホール)
- △3月5日
 - ・議会運営委員会
 - ・議会全員協議会 (旧騎西高校会議室)
- △3月8日・9日
 - ・国・東京電力へ要望活動
- △3月12日・19日
 - ・平成24年第1回双葉町議会定例会 (加須市騎西総合支所議場)
- △3月15日
 - ・加須市立騎西中学校卒業式 (騎西中学校体育館)
- △3月20日
 - ・百歳高齢者賀寿贈呈式 (福島市)
- △3月23日
 - ・加須市立騎西小学校卒業式 (騎西小学校体育館)
- △3月25日
 - ・町表彰式 (旧騎西高校会議室)
- △3月27日
 - ・双葉地方町村議会議長会要望活動
- △4月5日
 - ・福島県・福島県議会へ表敬訪問
- △4月10日
 - ・双葉高校入学式 (いわき明星大学)
- △4月11日
 - ・議会全員協議会 (旧騎西高校会議室)
- △4月12日
 - ・議会だより編集委員会
- △4月18日
 - ・双葉町役場機能本体を福島県内に戻すための調査特別委員会 (旧騎西高校会議室)
- △4月25日
 - ・東電福島第一原発事故被災市町村議会連絡協議会役員会、代議員総会 (田村市役所常葉行政局、常葉公民館)
 - ・福島第一原子力発電所立入り
- △5月11日
 - ・全国原子力発電所所在市町村協議会総会 (全国町村会館)
- △5月12日
 - ・双葉町商工会総会 (あだたら商工会)
- △5月15日
 - ・議会全員協議会 (旧騎西高校会議室)
 - ・町民との懇談会 (旧騎西高校体育館)
- △5月16日・17日
 - ・双葉町役場機能本体を福島県内に戻すための調査特別委員会 (旧騎西高校会議室)
- △5月17日・22日
 - ・東電福島第一原発事故被災市町村議会連絡協議会要望活動
- △5月31日
 - ・双葉地方広域市町村圏組合議会定例会

町民と議会との懇談会での要望を町に提出

1月17日～25日まで行われた町民の皆さんとの懇談会では、様々な意見と要望がありました。議会では皆さんから出された要望をまとめ、2月9日、町に提出しました。内容は、①中間貯蔵施設建設の件、②役場機能本体を県内に戻すこと、③飯の町の件、④町民の不公平感をなくすこと、⑤一時立ち入りの回数の件、⑥子供の将来と健康についてです。

【編集後記】

議員8名でスタートして5ヶ月が経ち、何も変わらぬ1年が過ぎ、春が来ましたが、まだ何も決まっていなことに苛立ちを感じ、心を痛めています。

町においても色々な問題が山積みですが、議員一同、皆様とともに復興復旧に向けて進んでいきたいと思っております。

議会だよりを発行するにあたり、皆様の意見も頂けると嬉しく思いますので、是非ご一報いただけることを祈っております。

避難している中、皆様には健康に留意され、ますますのご健勝をお祈り申し上げます。編集後記とさせていただきます。

(羽山)

【編集委員】

- 委員長 菅野博紀
- 副委員長 白岩寿夫
- 委員 羽山君子
- 委員 高萩文孝



福島県知事・福島県議会を訪問

【4月5日】

三月定例議会で双葉町役場機能本体を福島県内に戻すことについて決議したことや調査特別委員会を設置したことなどの説明や協力要請、あぶくま高原道路の無料化などをお願いしてまいりました。

平成24年第1回
定例会
3月12日～19日

このようなことが決まりました

平成24年第1回定例会は、3月12日から19日までの8日間の日程で開かれました。条例の制定・改正など議案が提出されました。
内容は、次のとおりです。

《平成24年度当初予算》

総額 62億4135万円でスタート

会 計		予 算 額
一 般 会 計		41億9,200万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	10億2,400万7千円
	公 有 林 整 備 事 業	607万6千円
	公 共 下 水 道 事 業	3億4,015万7千円
	工 業 団 地 造 成 事 業	13万円
	介 護 保 険	6億2,068万7千円
後 期 高 齢 者 医 療		5,829万2千円

《平成23年度補正予算》

- 【一般会計】総額69億9,864万7千円
- 【国民健康保険特別会計】総額10億6,111万1千円
- 【公共下水道事業特別会計】総額3億5,199万6千円
- 【介護保険特別会計】総額7億8,680万8千円
- 【後期高齢者医療特別会計】総額2,398万円



《議員発議》 - 役場機能を福島県内へ～特別委員会を設置

- 【双葉町役場機能本体を福島県内に戻すことについての決議】
- 【双葉町役場機能本体を福島県内に戻すための調査特別委員会設置に関する決議】

以上が賛成全員で可決され、双葉町役場機能本体を福島県内に戻すための調査特別委員会が設置されました。

◎委員長 伊澤史朗 ○副委員長 岩本久人 ・委員 羽山君子 白岩寿夫 高萩文孝 菅野博紀 清川泰弘 (委員長あいさつ)

今回の特別委員会の設置につきましては、役場機能本体を福島県内に戻すために、町民の皆様の意見や委員会として候補予定地を様々な角度から調査をし、判断していくものです。昨年の大震災から避難生活が1年経ち、他の双葉地方の町村と、福島県との連携強化のため立ち上げたものです。町民の皆様のご理解をよろしくお願いします。

《条例の制定・一部改正・人事案件》

- 【条例の制定】平成24年度東日本大震災等による被災者に対する町税の減免に関する条例・・・可決
- 【条例の一部改正】双葉町職員定数条例・双葉町行政区条例・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例・職員の特殊勤務手当に関する条例・双葉町東日本大震災復興基金条例・災害弔慰金の支給等に関する条例・双葉町介護保険条例・東日本大震災による被災者に対する介護保険料の減免に関する条例・・・以上、可決
- 町長等の給与及び旅費に関する条例・・・否決
- 【委員の選任】双葉町固定資産評価審査委員（竹原天氏、遠藤直敏氏、横山壽氏）・・・同意
人権擁護委員の推薦（永野康明氏）・・・適任と認める

【傍聴者数】

・12日・・・	17人
・13日・・・	29人
・16日・・・	18人
・19日・・・	31人
合 計	95人
↓	
・双葉町民	24人
・町 外	15人
・報道関係	56人

【一般質問】 3月定例会の一般質問は、13日に行われ、5名の議員が質問しました。内容を要約してお知らせします。

- ▼白岩寿夫議員
 - 避難対応について

【質問】町民は公平公正でない生活を送っている。今後、格差のない支援と的確な情報提供などの施策は

【答弁】全国の避難世帯に電子掲示板(フォトフレーム)を配置する「広報ふたば」など紙ベースの情報も内容の充実を図っていく
 - 町の復旧・復興について

【質問】戻すことを前提とした町づくりを考えているが、どのような考えを持っているのか

【答弁】双葉町復興まちづくり計画を策定し、今後いつの日か町に帰ることを目標にし、町民の意見を幅広く拝聴しながら、復興計画に反映させていきたい
 - 双葉町と共に学校の復旧・復興について

【質問】学校(教育)をどのようなかたちで作り上げていくのか

【教育長答弁】教育委員会としては、学校の再開を最重要課題とし、町民の意見を踏まえ、町との十分な協議により進めたい
 - ▼清川泰弘議員
 - 今後の双葉町の進み道について

【質問】2月26日の双葉郡8町村長会と国の意見交換会が中止になったことについて、出席すべきだったと思うか

【答弁】前例に捉われることのない議論が困難との危惧、強い不信感と危機感を感じたため、一旦中止を決定したもので、議論の進め方、国の考え方を確認し、再度協議することとした
 - 【質問】役場機能本体を県内に戻す時期と設置場所について、町長の考えは

【答弁】復興への道(案)のアンケート、町政懇談会の内容を検討・分析を行い、町民から意見やアイデアを伺う機会を設け、協議を進め、決定したい
 - 【質問】仮の町について、町長の考えは

【答弁】避難生活が長期化する中、集団移転を実施することも選択肢の一つ。復興まちづくりの方向性について、町民の意見を十分に踏まえ、計画を策定したい
 - ▼菅野博紀議員
 - 双葉町弁護士について

【質問】着手金について、双葉町弁護士は2万円(本人1万円、町1万円)、東京は個人1万円。金額の違いは何が変わるのか

【答弁】依頼本人の負担は、変わりありません
 - 【質問】双葉町弁護士への依頼件数・当初予定件数とこれまでの実績結果は

【答弁】当初予定件数は町民全世帯、依頼件数は47世帯110人(3月9日現在)、実績は原子力損害賠償紛争解決センターへ22世帯47人分の集団申立てを行った
- 行政全般について

【質問】役場機能本体の県内移動はいつか 福島支所に町長不在時には副町長という約束はどうなっているのか

【答弁】昨年10月末から福島支所を設置して対応している。今年1月から副町長が毎週定期的な福島支所に駐在している

【質問】旧騎西高校に避難している方の人数は

【答弁】3月11日現在398人

【質問】中間貯蔵施設について、町長の考えは

【答弁】町民の意見に広く耳を傾け、議会とも相談しながら慎重な対応を心掛けた
- ▼羽山君子議員
 - 双葉地方総決起大会後の取組みについて

【質問】大会決議に「国は原子力損害賠償紛争審査会の委員に我々を参加させること」とあるが、大会後の町の取組みと町長の決意は

【答弁】町・議会でも要望している。まだ実現されていないが、引き続き委員として参加できるように要望していく
 - 町民のコミュニティについて

【質問】県内にある温泉施設等を個人負担なしで町民のコミュニティの場として利用できないか

【答弁】精神面でのリフレッシュ、コミュニティの場は大切なこと。全国に避難している町民との調整が伴うが、今後検討が必要と考える
 - ▼岩本久人議員
 - 町長の政治姿勢について

【質問】旧騎西高校一次避難所閉鎖の時期は、自立のための方策は

【答弁】中長期的な避難先として提供を受ける際、期限は設定されていない。旧騎西高校において自治会設立準備委員会を開催したところであり、今後自治会が中心となって運営を行っていただきたい
 - 【質問】双葉町復興計画の策定時期は、基本理念は

【答弁】平成24年度中の策定を目指す。基本理念は、①全国に避難する町民への生活支援、行政サービスの維持継続②仮の町づくり③いつの日か町民と共に帰還しふるさとの再生を目指すこと
 - 【質問】復興に向けて県との連携強化をどのように図っていくのか

【答弁】第一次福島県復興計画の実現には、市町村との連携が必要と位置付けており、町の帰還や時限的町づくりを検討するにあたって、国に対し、福島県と連携して強く求めていきたいと考えている
 - 仮設住宅等における現状について

【質問】自治会運営費の予算化は

【答弁】当初予算(補助金)を計上

【質問】自治会運営と絆事業との役割分担は、町の対応は

【答弁】自治会は住民相互間の融和を図り、絆事業は支所と住民とのパイプ役として、町は相互間の調整を図りつつ支援していく
 - 【質問】いわき南台仮設住宅増設の予定は、行政機能の設置予定は

【答弁】検討したい